

# うたって学ぶしまくとうば

## ～rainとめぐる沖縄のうた～

### 赤田首里殿内編

年 組 番 氏名

#### イントロコーナー

『赤田首里殿内（あかたすんどうんち）』ってどんな歌？

『赤田首里殿内（あかたすんどうんち）』は、沖縄に伝わる手遊び歌・童歌（わらべうた）のひとつ。この歌には、「病気をせずに健康に過ごせますように」という願いと、「作物がよく実り、生活が安定して豊かになりますように」という願いが込められています。このワークでは、沖縄の童謡をとおして、しまくとうばの意味や音を楽しく学んでいきましょう！



#### 学習の目標



- ・うたの内容を知ろう : 『赤田首里殿内』がどんな場面・どんな願いの歌か知ろう。
- ・しまくとうばにふれよう : うたに出てくるしまくとうばの意味や音の感じを知ろう。
- ・自分の言葉で伝えよう : 学んだことや気づいたことを、文章にまとめて伝えよう。

#### 1. うたの内容を知ろう

『赤田首里殿内（あかたすんどうんち）』ってどんなストーリー？

Q1. この歌にこめられている願いとして近いものに○をつけよう。

- ①みんなの健康 ②豊作（作物がよく実る） ③平和な暮らし ④ぜんぶ



Q2. 『赤田首里殿内』の歌詞には、「決まった順番（1番・2番）」がないとのこと。あなたはそれを聞いてどう思いましたか？

---

---

---

Q3. 次の（ ? ）に入る言葉は？ 選択肢の中から一つ選んで、○をつけよう。

赤田首里殿内 黄金燈籠提げて それが明かがれば （ ? ） 御迎え

- ①キジムナー ②弥勒（みろく／ミルク） ③耳切坊主（みみちりぼうず）

### うたって学ぶしまくとうば【赤田首里殿内編】

#### 教員用解説資料

#### 【留意点】

##### ◆教材の特性

- ・手遊び歌・わらべうたとして親しまれてきた歌。楽しい雰囲気を大切に
- ・祈りの歌：五穀豊穡・健康・幸福を願う意味が込められていることを理解させる
- ・歌詞に決まった順番はない：「1番・2番」という概念がないことに注目

##### ◆重要な文化的背景

- ・ミルク（弥勒）≠牛乳：弥勒菩薩の生まれ変わり「布袋様」のこと。現世の幸福をもたらす神様
- ・首里殿内（スンドゥンチ）：最高位の祝女（ノロ）の屋敷。国家祭祀を司る場所
- ・弥勒ウンケー：ミルク様を迎え入れる行事。灯籠に火を灯すことで始まる
- ・弥勒世果報（ミルクユガフー）：豊年万作・天下泰平。ミルク信仰は中国南部から伝わった

##### ◆しまくとうば学習のポイント

- ・手遊びと一緒に体験：体を動かしながら歌うことで、自然に言葉を覚える
- ・擬態語に注目：「ヤファヤファ（柔らかい）」⇔「クファ（硬い）」の対比を紹介
- ・フェーシ（囃子）の理解：意味のない音楽的な言葉（シーヤーパー、耳ン前など）

##### ◆配慮が必要な場面

- ・手遊びが苦手な児童：見るだけ・一部だけ参加でもOK
- ・発音が難しい言葉：ゆっくり区切って練習（「あかた・すんどうん・ち」など）

Q1. この歌にこめられている願いとして近いものに○をつけよう。

【解答例】④ ぜんぶ（健康・豊作・平和なくらしすべてが含まれる）

【指導のポイント】・五穀豊穡幸福、作物の成長、健康が願われていることを押さえる。  
「弥勒世果報（ミルクユガフー）」＝豊年万作・天下泰平という意味を補足説明するとよい。  
・現世の幸福すべてを願う歌であることを理解させる。

Q2. 赤田首里殿内には、決まった順番がないとのこと。それを聞いてどう思いましたか？（自由記述）

【解答例】・不思議だと思った。今の歌には1番2番があるから。  
・順番がないなら、好きな歌詞から歌えるから面白いと思った。  
・昔の歌は自由だったんだなと思った。

【ポイント】・沖縄民謡の特徴の一つ。正解はないので、児童の素直な感想を引き出す。  
・現代の歌との違いに気づかせ、文化の多様性を学ぶきっかけにする。

Q3. 次の（ ? ）に入る言葉は？ 選択肢の中から一つ選んで、○をつけよう。

【解答例】② 弥勒（みろく／ミルク）

【ポイント】・「灯籠に火が灯る＝弥勒ウンケーの始まり」という歌詞の流れを理解させる。  
・ミルク様を迎えることが「幸福の始まり」であることを押さえる。  
・ミルク＝弥勒（布袋様）：現世の幸福をもたらす神様であることを説明。  
・「思い込みを外す体験」が、しまくとうばへの興味の入口になる。

## 2.しまくとぅばにふれよう

### 『赤田首里殿内』に出てくるしまくとぅばの意味は？

Q1. 『赤田首里殿内』の歌詞をたのしみながら、声に出して歌ってみよう。

#### 【歌詞（しまくとぅば）】

あかたすんどうんち くがにどうーる さ  
赤田首里殿内 黄金燈籠 提げてい

う あ みるく うんけ  
其りが明かがりば 弥勒御迎ー

てーくく みるく うちなー いもー

大国から弥勒 沖縄に参ち

くとうしゆー みるくゆがふー

今年世や弥勒世果報でむぬ

とうかぐ ゆーあみ やふあやふあ たぼ

十日越しぬ夜雨 柔々とう給ち

いだ ふあー う やふあ たぼ

枝ん葉ん折らん 柔とう給ち

シーヤープー シーヤープー

ミミ メー ミミ メー

耳ン前 耳ン前

フィージ フィージ

肘ントー 肘ントー

イユ ミー イユ ミー

魚ヌ目 魚ヌ目

#### 【現代語訳】

赤田首里殿内 黄金燈籠提げて

其れが明かがれば 弥勒御迎え

大国から弥勒 沖縄に参ち

今年世や弥勒 世果報だいの

十日越しの夜雨 柔々と給ち

枝も葉も折らぬ 柔とう給ち

シーヤープー シーヤープー

耳ン前 耳ン前

肘ントー 肘ントー

魚ヌ目 魚ヌ目

＼ 声に出して歌えたら、手遊びにもチャレンジしてみよう！ ／

Q1. 「赤田首里殿内」の歌詞をたのしみながら、声に出して歌ってみよう。

#### 【ポイント】

- ・音読・歌唱を重視。リズムや音の繰り返し（「ヤファヤファ」「シーヤープー」）に注目させる。
- ・発音が難しい場合は、区切って練習（「あかた・すんどうん・ち」「みるく・ゆがふー」など）。
- ・フェーシ（囃子）の説明：意味のない音楽的な言葉。日本民謡の「よいよい」「そら」などに相当。

#### 【手遊びの動作】

- ・シーヤープー：ほっぺをつんつんする。本来は手を握る所作。語源は不明。
- ・耳ン前（ミミンメー）：「御耳様」の意。両耳を両手でつまんで左右に揺れる。  
ミルク様の耳が大きいことを表す説もある（布袋様の大きな福耳を連想）。
- ・肘ントー（フィージントー）：「肘触るよ」の意。自分の肘に触れる。
- ・魚ヌ目（イユヌミー）：手のひらや足の裏にできる丸い皮膚のかたまり（たこ・うおのめ）のこと。  
なぜフェーシになるのかは謎だが、言葉遊びとして楽しむ。
- ・手遊びを通じた学び：体を動かしながら歌うことで、意味がわからなくても音だけで歌を覚えられる。  
（手遊び＝「体を動かしながら歌う」体験が、言葉の記憶と定着につながる。）
- ・「歌には言葉を継承する力がある」ことに気づかせる。

## 3.自分の言葉で伝えよう

### 学んだことや気づいたことを、文章にまとめて伝えよう！

Q1. 『赤田首里殿内』の中で、あなたが「おもしろい」と思ったしまくとぅばはどれ？

「おもしろい」と思ったしまくとぅば：\_\_\_\_\_

その理由：\_\_\_\_\_

Q2. あなたが「おもしろい」と思ったしまくとぅばを、グループの人に発表しよう！  
グループの人がえらんだ“おもしろい言葉”をメモしよう。

#### もっと調べてみよう！



- ・「赤田首里殿内」を、まだ知らない人に紹介するならどうやって説明する？
- ・「柔々（やふあやふあ）」は、どんな感じの雨だと思う？
- ・「赤田首里殿内」の手遊びもマスターしてみよう！

Q1. 『赤田首里殿内』の中で、あなたが「おもしろい」と思ったしまくとぅばはどれ？

- 【解答例】（例1）「ミルク」→牛乳だと思ったら神様のことだと知って驚いた。音がかわいい。  
（例2）「ヤファヤファ」→優しい雨の感じが伝わってくる。  
（例3）「シーヤープー」→意味はないけど、ほっぺをつんつんする動きが楽しい。

- 【ポイント】・「おもしろい」の基準は児童によって異なる。（音の響き、文化的な違いなど）  
・理由を言語化させることで、言葉への興味・関心を深める。

Q2. あなたが「おもしろい」と思ったしまくとぅばを、グループの人に発表しよう！

- 【ポイント】・発表活動を通じて、多様な視点に触れさせる。  
・「友だちの意見を聞いて、自分も同じように感じた」「自分とはちがう見方があって面白かった」など、メタ認知を促す声かけを行う。  
・時間があれば、クラス全体で「人気のしまくとぅば」をランキング化してもよい。  
・手遊びと結びつけて「この動きが面白い」という視点も出やすい。

#### 総合的な指導のポイント（全体を通して）

ワークシート活用は任意とするが、動画と連動させる：動画で歌や伝説を視聴してからワークに取り組むと、理解が深まる。動画の流れ（曲紹介→1回目歌唱→物語解説→歌詞解説→2回目歌唱）に合わせて、ワークを段階的に進めるとよい。